

聖金曜日 (ヨハネ 18:1-19:42)

あなたも、あの人の弟子の一人ではありませんか



皆さんは「この人と同じに見られたくない」「この人と同類と思われたくない」という人がいるのでしょうか。組織が大きくなってくると、そういう人たちがちらほら現れるかもしれません。ペトロは、イエス・キリストと同じに見られたくないと、はっきり言ったのです。「あなたも、あの人の弟子の一人ではありませんか。」「違う。」

中田神父にも、同じ人種と見られたくない人がいますが、その人は重い病を得てしまいました。長年、「あいつと同じに見られたくない」と思っていた人です。複雑な気持ちです。本当は今でも、「あいつと同じと見られたくない」と思っていますが、病の重さ、深刻さを考えると、助けてあげたい、力になりたいという気持ちもあります。

ペトロは、面と向かって「違う」と言い張りました。イエス様から「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府（よみ）の力もこれに対抗できない」（マタイ 16・18）とまで信頼を得ていたのに、その信頼を覆し、裏切ったのです。ペトロは後悔し、すぐに「あなたを愛しております」（ヨハネ福音書 21 章）と答える人になりました。中田神父は「あの人とは違う」と考えていた人が重い病を得るまで何十年も、恥知らずにも「同じ」であることを認めようとしなかったのです。

イエスは、自ら十字架を背負いました。一体誰のためですか？恥知らずにも「あの人とは違う」と言った私のため、また私たちのためではありませんか。十字架の重さに三度倒れたとしたら、それは誰のためですか？何十年も、相手を認めようとしなかった私のためではないですか？同じように、「あの人と同類にしないでいただきたい」と拒む、私たちのためではないのでしょうか。

なぜ、イエス様は十字架から降りないのでしょ。うか。「あの人と私とは違う」と今も言い張る人がいるからでしょう。なぜイエス様は、十字架の上で亡くなられたのでしょうか。私たちが、自分の力では自分を縛っている鎖を断ち切ることができないからです。自分を縛っている鎖、この縛りから私を救ってくれる言葉は何だったのでしょうか。「ラザロ、出てきなさい」あの叫びでした。イエス様しか成し遂げることのできない救いのわざが、私たちが縛っているものから解き放ってくれるのでした。

イエスは「成し遂げられた」と言って頭を垂れて息を引き取られました（19・30）。「ラザロ、出てきなさい」と大声で叫んだイエスが、今は「成し遂げられた」と言われます。自分の力では罪を認めることができない私たちに代わって罪を背負い、すべての縛り、人を不自由にしている鎖を断ち切ってくださったのです。イエスのおかげで、「違う」と言い続けてきた自分の罪を、ようやく認めることができました。

罪を認めましたが、罪は赦されるのでしょうか。何十年も認めよう

全能の神よ、聖なる福音をふさわしく告げるため、わたしの心と口を清めてください。

としなかった罪が赦されるはずがありません。ですからイエスは、十字架の上で命をおささげになったのです。誰も、自分の犯した罪を赦すことができないので、イエスがいけにえの子羊となったのです。

「世の罪を取り除く神の子羊。」ほんの数年前までは、この部分は省いて言っていました。「神の子羊の食卓に招かれた人は幸い。」せっかく「世の罪を取り除く神の子羊」この部分も唱えるようになったのですから、今日こそ、罪を悔やみましよう。今日こそ、このあわれな私を救ってくださるイエス・キリストに心から感謝しましよう。

そして、私を救ってくださるのはあなただけです。この信仰をどんな時でも、どんな人にも伝えましよう。今日私たちのために命をささげてくださいましたイエスが、復活して勝利を得ます。勝利を得るお方は、私たちすべての罪を背負い、十字架上で亡くなられたイエス・キリストただ一人なのです。これから、十字架の礼拝に移ります

復活徹夜祭(マタイ 28:1-10)

福音のことばによって、わたしたちが罪から清められますように。